

保健だより

平成29年9月29日発行

福山高校

NO. 6 保健室

結核について

～公益財団法人結核予防会パンフレットより～

9/24 ~ 9/30は

結核予防週間です。

結核はどんな病気？

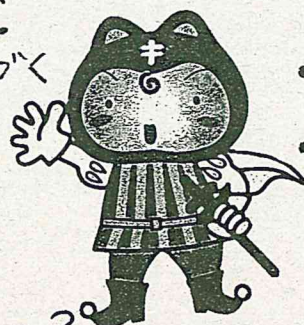
1日50人が亡くなる日本の重大な感染症です

明治時代から昭和20年代までの永い間、「国民病」「亡国病」と恐れられた結核。50年前までは、年間死者数も10数万人に及び死亡原因の第1位でした。

医療や生活水準の向上により、薬を飲めば完治できる時代になりましたが、過去の病気と思っていたら大間違いです。今でも1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落としている日本の重大な感染症なのです。

こんなときは病院へ

- せきが2週間以上つづく
- 急に体重が減る
- お年寄が急に弱る



- タンがでる
- からだがかたまる



どうやって感染するの？

咳やくしゃみで「空気感染」する病気です

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気です。結核菌の混ざったしぶきが咳やくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによりうつります。これを「空気感染」といいます。

ただし、結核に感染しても必ずしも発病するわけではありません。通常は、免疫力により結核菌の増殖が抑えられ、休眠状態になります。

結核の予防

結核は、正しく理解して行動していればそれほど怖がる必要はありません。

2週間以上咳や痰が続くようでしたら、医療機関を受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると、重症になりやすく、生命を危くすることもあります。予防するためには、BCG接種が有効です。

市町村からの案内に従って遅くとも1歳までに接種を受けてください。(ちなみに、国が示している標準的な接種期間は生後3ヵ月～8ヵ月の期間です。)

結核の治療

もし結核と診断されたら？

大丈夫！
治療すれば治る。



結核と診断されても、6ヵ月～9ヵ月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。しかし、症状が消えたからといって、治療の途中で服薬を止めてしまえば治りません。それどころか、菌は抵抗力をつけ、薬が効かない耐性菌になることもあります。

治療を確実にするために、患者に処方するだけでなく、患者が服薬するところを医療従事者の目の前で確認し、支援する方式の推進が強化されています。この直接服薬確認療法DOTS(Directly Observed Treatment, Short-course)といいます。

また、結核の治療費用については、公的負担が受けられます。服薬支援や公的負担などに関することは、お近くの保健所にご相談ください。